

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

下諏訪町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県諏訪郡下諏訪町

3 地域再生計画の区域

長野県諏訪郡下諏訪町の全域

4 地域再生計画の目標

本町は、明治 26 年(1893)に町制を施行し、昭和 33 年に隣接する岡谷市の一部を編入して、昭和 48 年(1973)には人口がピークの 27,500 人に達した。

本町の総人口は、26,567 人であった昭和 60 年(1985)から人口減少傾向となり、住民基本台帳によると令和 3 年(2021)には 19,379 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には総人口が 14,856 人となる見込みである。

令和 2 年(2020)の国勢調査によると年齢 3 区分別の人口は、年少人口(0～14 歳)は昭和 55 年(1980)の 24.0%(6,370 人)から 10.8%(2,056 人)へ 13.2 ポイント低下、生産年齢人口(15～64 歳)は昭和 55 年(1980)の 65.8%(17,490 人)から 50.4%(9,581 人)へ 15.4 ポイント低下、高齢人口(65 歳以上)は 10.2%(2,714 人)から 38.8%(7,360 人)へ 28.6 ポイント上昇と推移しており、少子高齢化が進んでいることが分かる。今後も少子高齢化がさらに進むことが想定されている。

本町の自然動態をみると、出生数が昭和 55 年(1980)の 354 人をピークに減少し、令和 2 年(2020)には 87 人となっている。その一方で、死亡数は 288 人(令和 2 年(2020))となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲201 人(自然減)となっている。また、平成 9 年(1997)に自然減に転じてからは一貫して、自然減で推移している。

社会動態をみると、昭和 55 年(1980)から減少人数に幅はあるものの、一貫して社会減が続いており、令和 3 年（2021）年には 23 人の社会減（転入者数 571 人、転出者数 594 人）となっている。

以上のように、長らく続く自然減及び社会減により、人口減少に歯止めがかからない状況が継続している。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことにより、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退など、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応し、持続可能な町であり続けるために本計画において、4 つの基本目標と全ての基本目標に通じる 2 つの横断目標を設定して、目標の達成を図ることで、人口減少の抑制を目指す。

- ・基本目標① 【雇用】地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす
- ・基本目標② 【ひとの流れ】町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる
- ・基本目標③ 【結婚・出産・子育て】ひととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす
- ・基本目標④ 【活性化】住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる
- ・横断目標① 多様な人材の活躍を推進する
- ・横断目標② 新しい時代の流れを力にする

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	チャレンジ起業支援件数	2.8件	5件	基本目標①

	町内の新規採用者数	63人	70人	基本目標①
	町民菜園稼働率	93%	95%	基本目標①
	野生鳥獣の個体数調整（駆除数）	156頭	335頭	基本目標①
ア	森林整備施行面積	30ha	30ha	基本目標①
	ワカサギ受精卵放流量	7.7億粒	8億粒	基本目標①
	店舗、工場、農地の低未利用地の紹介件数	7.6件	8件	基本目標①
	ものづくり支援センター受発注支援金額	2.7701億円	3億円	基本目標①
イ	町での移住相談件数	131件	140件	基本目標②
	社会動態（転入及び転出）による異動人口	▲101.2人	▲90人	基本目標②
	下諏訪観光協会ホームページアクセス数	303,470PV	420,000PV	基本目標②
	観光消費額（1人あたりの消費単価）	2,343円	3,000円	基本目標②
ウ	婚姻人数（町内在住者の婚姻届出人数）	94人	80人	基本目標③
	町主催の出会い・婚活イベントのカップル成立率	31.40%	40%	基本目標③
	自然動態（出生及び死亡）による人口増減	▲170.2人	▲150人	基本目標③
	妊婦一般健康診査受診票使用率	91.40%	100%	基本目標③
	保育所持機児童数	0人	0人	基本目標③
	母子父子寡婦家庭への福祉資金貸付や技術取得支援機関の紹介	2日間	2日間	基本目標③
	子育てふれあいセンター利用者数	10,783人	19,000人	基本目標③
	学校満足度	小学校：86.1% 中学校：89.4%	小学校：90% 中学校：90%	基本目標③
	図書館の図書貸出冊数	243,413冊	244,600冊	基本目標③
	文化センター利用者数	44,285人	48,800人	基本目標③
	原爆展・平和企画展等開催日数	10日	14日	基本目標③
	愛知県南知多町との小学生交流事業満足度	100%	100%	基本目標③
	体力合計点	51.5点	54点	基本目標③
エ	ふるさと納税者数	209人	200人	基本目標④
	国際交流講演会参加者数	150人	200人	基本目標④
	メール・SNSによる情報発信件数	1,178件	1,500件	基本目標④
	職員出前講座開催回数	28回	30回	基本目標④

エ	伏見屋邸入館者数	9,873人	15,000人	基本目標④
	下諏訪町高齢者クラブ補助金利用団体数	16団体	30団体	基本目標④
	地域の活力創生チャレンジ事業支援件数	6.4件	10件	基本目標④
	各種委員会・審議会等における女性委員の割合	30.20%	40%	基本目標④
	空き家情報バンクによる成約件数	10.2件	10件	基本目標④
	諏訪広域連合が処理する事務の数	15項目	15項目	基本目標④
	グリーン購入法適合公用車割合	30.10%	42%	基本目標④
	人権教育研修会参加者数	66人	70人	基本目標④
	地域活動支援センター利用者数	14人	15人	基本目標④
	生活困窮者の相談のうち専門機関との連携対応の割合	57.7%	60%	基本目標④
	街なみ環境整備事業による小公園整備箇所数	3箇所	5箇所	基本目標④
	防災士在住地区数（防災士が在住する町内会の数）	66地区	80地区	基本目標④
	水防訓練参加者数	224人	220人	基本目標④
	特殊詐欺等防止機器購入補助金利用件数	0件	150件	基本目標④
	町内交通事故件数	65件	55件	基本目標④
	消防団員数	231人	230人	基本目標④
	上水道管路の耐震化率	14.6%	16.8%	基本目標④
	下水道管路の耐震化率	21.9%	33.8%	基本目標④
	都市計画道路の整備率	53.8%	58.0%	基本目標④
	赤砂崎公園多目的グラウンド利用者数	5,800人	5,800人	基本目標④
	町内循環バスあざみ号利用者数	42,816人	49,000人	基本目標④
	家庭から出る燃やすごみの量（1日1人あたりの排出量）	474.7g	460.5g	基本目標④
	移動販売利用者数	5,611人	6,000人	基本目標④
	平均自立期間	男性：81.0歳 女性：86.2歳	男性：81.0歳 女性：86.2歳	基本目標④
	健康スポーツゾーンを活用した講座開催回数及び参加者数	12回 145.2人	12回 160人	基本目標④
エ	国保特定健康診査受診率	44.2%	60.0%	基本目標④
	認知症サポーター養成講座受講者数	2,624人	3,000人	基本目標④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

下諏訪町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす事業

イ 町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる事業

ウ ひととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす事業

エ 住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす事業

豊富な観光地や地域の資源を活用しながら、創業にチャレンジする人、家庭と仕事の両立を図る人など、それぞれが自分のライフスタイルにあった働き方ができるまちづくりをめざす事業。

【具体的な事業】

- ・ 創業支援計画に基づく創業者支援
- ・ 受注確保や技術の高度化への支援
- ・ 労働者の雇用安定、UIJ ターンの支援 等

イ 町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる事業

当町が移住・定住を検討する際の候補地として選んでもらえるよう、それぞれの方の段階や実情に応じた支援を行い、人口の社会減を縮小し、社会増への転換をめざす事業。

【具体的な事業】

- ・移住希望者、定住希望者への情報提供、経済支援
- ・テレワーク、コワーキングの促進
- ・慣行の環境整備

等

ウ ヒととひととのつながりと絆を大切に、ゆとりある子育てができるまちをつくることによって、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちをめざす事業

異性との出会いの創出や妊娠・出産の不安の軽減や子育て家庭への支援を行うことで、子育てのしやすさを実感できる町をめざす事業。

【具体的な事業】

- ・婚活事業の推進による出会いの創出
- ・妊娠期からの切れ目のない支援
- ・子育て家庭を支援する仕組みづくり

等

エ 住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる事業

地域にある人と人のつながり、行政と住民の協働・連携を大切にし、住民一人ひとりが健康に活躍するまちづくり、また、町外の人が魅力を感じ、訪れてみたくなるまちづくりをめざす事業。

【具体的な事業】

- ・空き家などの利活用の促進
- ・都市公園の保全整備
- ・安全で災害に強いインフラの整備及び都市計画道路等の整備促進等

※ なお、詳細は第2期下諏訪町未来を創る総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

350,000 千円（2022年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度 9 月を目途に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式W E Bサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2026 年 3 月 31 日まで